

静岡放射能汚染測定室だより

第4号

2011年10月30日発行



イラスト 清重伸之

目

- | | | | |
|---------------------|----|--------------------|-----|
| ■ 測定結果報告 | …1 | ■ お知らせ | |
| ■ 測定についての補足 | …2 | ①静岡県内の松葉の測定結果が出ました | …7 |
| ■ 9月28日(水) | | ②主催します! | …8 |
| 第3回『放射能を話そう♪』報告 | …3 | ③第5回 “放射能を話そう♪” | …8 |
| ■ 第3回『放射能を話そう♪』感想 | …4 | ④静岡で行われる映画祭 | …8 |
| ■ 河野益近さんのインタビュー新聞記事 | …5 | ■ 測定室事務局より | …9 |
| ■ 測定室からこんにちは! | …6 | ■ 測定室日誌 | …10 |
| ■ 測定検体別必要量について | …6 | ■ プラムフィールドの窓 測定室の風 | …11 |

会員頒布用

価格 1部 500円

測定結果報告 2011年9月15日～10月11日

静岡放射能汚染測定室調べ 測定値の単位はベクレル/kg、()内の数値は検出限界値(単位はベクレル/kg)

・検体重量(g) ・NDは不検出 ・「↓」は検出限界値以下

	産地	食品名	重量	セシウム 134	セシウム 137	合計
	静岡県田方郡函南町	牛乳(賞味期限 2011' 9/17)	625	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*1	栃木県真岡市	玉ねぎ	617	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*2	長野県北信地区	桃	579	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*3	栃木県真岡市	じゃがいも	652	ND (1↓)	ND (1↓)	ND
	静岡市清水区	牛乳(賞味期限 2011' 9/17)	670	ND (1↓)	ND (1↓)	ND
	静岡市駿河区中島	井戸水	673	ND (1↓)	ND (1↓)	ND
	中国内蒙古	重曹 (食品添加物・賞味期限 2013' 8/22)	657	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	茨城県稲敷市	玄米(平成 23 年産ひとめぼれ)	593	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	兵庫県小野市	牛乳(賞味期限 2011' 9/27)	574	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	静岡県浜松市	玄米(平成 23 年産 静岡こしひかり特別栽培)	574	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	静岡市葵区小瀬戸	緑茶(平成 23 年産)	296	132	174	306
	静岡県浜北市	玄米(平成 23 年産)	567	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	中国内蒙古	食塩(平成 23 年 8/22 製造)	725	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*4	静岡県南伊豆町	さつまいも	445	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	日本各地	中華だしの素(賞味期限 2012' 8/6)	570	ND (3↓)	ND (3↓)	ND
	静岡県周智郡森町	緑茶(平成 23 年産八十八夜茶)	517	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*5	長野県北信地区	りんご	601	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*6	静岡市駿河区	ゴーヤ	599	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	静岡市松崎町	ナタネかす(平成 23 年 6/4 製造)	440	3	4	7
*7	長野県上田市	じゃがいも(家庭菜園)	498	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	静岡市清水区吉原	緑茶(平成 23 年産深蒸し茶)	327	187	245	432
*8	掛川市伊達方	たまご	641	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	静岡市葵区新通	井戸水	679	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	静岡市葵区内牧	井戸水	687	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*9	静岡県三島市	梨	500	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	静岡市清水区小島	水道水(和田島上水場)	677	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	北海道十勝	牛乳(賞味期限 2011' 9/29)	525	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*10	広島県庄原市	りんご	518	ND (2↓)	ND (3↓)	ND
	栃木県真岡市	白米(平成 23 年産)	597	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*11	袋井市山崎	乾燥牧草(自家産)	44	ND (17↓)	ND (22↓)	ND
	北海道足寄郡	キャベツ(家庭菜園)	265	ND (5↓)	ND (7↓)	ND
	茨城県稲敷市	玄米(平成 23 年産こしひかり)	567	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	静岡県袋井市	玄米(平成 23 年産)	586	ND (2↓)	ND (2↓)	ND

	埼玉県秩父郡横瀬町	ミネラルウォーター (賞味期限 2012' 7/4)	696	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*12	静岡市駿河区手越原	さつまいも	345	ND (3↓)	ND (4↓)	ND
	北海道釧路市	きり昆布 (賞味期限 2011' 9/4)	563	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*18	茨城県古河市	たまご	534	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*13	静岡県富士市	さつまいも (家庭菜園)	411	ND (2↓)	ND (3↓)	ND
	静岡県御前崎市 ・掛川市	緑茶パウダー (平成 23 年産、 前年産とのブレンド)	247	ND (4↓)	ND (6↓)	ND
	静岡県御前崎市	緑茶 (平成 23 年産、有機栽培、 前年産とのブレンド)	281	27	36	63
	静岡県御前崎市	緑茶 (平成 23 年産、有機栽培一番茶、 前年産とのブレンド)	273	35	47	82
	静岡県賀茂郡松崎町	玄米 (平成 23 年産)	449	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
	北部九州の山間部	みつせ鶏 (開放鶏舎、平飼い)	549	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
	静岡県賀茂郡松崎町	玄米 (平成 23 年産)	538	ND (1↓)	ND (2↓)	ND
*14	静岡市葵区黒俣	緑茶 (平成 23 年産)	249	102	137	239
*15	静岡市葵区黒俣	緑茶飲用茶 (平成 23 年産)	644	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*16	静岡市葵区	しょうが	377	ND (2↓)	ND (2↓)	ND
*17	静岡市駿河区手越原	みかん	616	ND (2↓)	ND (2↓)	ND

測定についての補足

*1・・・

薄皮を剥いて、根と芽(天地)を取って測定。

*2・・・

水洗いをして、種を除いて皮ごと測定。

*3と*7・・・

水洗いをして、皮をむいて測定。

*4と*12と*13・・・

2回洗い、皮ごと測定。

*5と*10・・・

水洗いをして、皮ごと (芯は除く) 測定。

*6・・・

水洗いをして、全体を測定。

*8と*18・・・

殻を割って、中身を測定。

*9・・・

洗わず、芯を除いて皮ごと測定。

*11・・・

人の食べ物ではないですが、牛さんも健やかに育ててもらったために測りました。検体重量が少ないため、検出限界値が高くなっています。

*15・・・

*14 の緑茶を測定した後、その茶葉 5g×5 = 25g を 80 度の湯で 1 分間蒸らして、飲用に入れたもの。

実際に飲むときの状態を知るために測定しています。



*16・・・

2回洗って、測定。

*17・・・

皮を剥いて、中身を測定。(現在、同じ生産者が同時期に収穫したみかんの皮を集めて、測定の準備をしています。次号で報告します)

第3回『放射能を話そう♪』9月28日(水) 報告



2011年10月8日記

報告 測定室スタッフ 榛葉真理子

進行 測定室スタッフ 加藤 光代

9月28日(水) 午前10:30~12:00

参加者 37名：(内男性2名) 乳児と幼児9名

(会員：22名、一般：8名、スタッフ：7名)

朝夕の涼しさによろやく秋を感じるようになったこの日、測定室は朝からとても賑やかでした。

西は磐田、東は三島、富士宮から、赤ちゃんを抱っこして「初めて来ました」というお母さんたちも一緒に、3回目の「放射能を話そう会」が始まりました。

今回は検体の交換の様子を見学してもらいました。測定する井戸水を容器に入れて装置にセットするところを間近で見学。パソコン上に現れるグラフの見方の説明も行われました。

この1ヶ月の測定状況の報告の中では、結果に表れる何 Bq/kg という数値だけをとりえて心配するのは科学的ではないという話も出ました。

例えば、シラスなど1回に食べる量が少ないものと肉や牛乳など、まとまった量を摂るものとは、おのずと心配の度合いが違います。数字を読み解く力も大切だと思いました。(被ばく量の計算方法等が掲載された新聞記事も資料として配布)

その後、参加者の熱心な意見交換が続きました。毎回、集まる方々の意識の高さに驚くばかり。給食、イモ掘り遠足への参加に不安を感じていたお母さんの気持ちに、園や行政に働きかけているというお母さんが応えていました。放射能汚染だけにとらわれず、様々なリスクから子どもたちを守っていききたいという皆さんの想いに、今回もとても励まされ、勇気づけられる会となりました。

最後になりますが、前回スカイプ部を立ち上げて下さった三島のAさんが、測定室まで来てスカイプ中継を担当して下さいました。Aさん、ありがとうございました。



■ 第3回『放射能を話そう♪』参加者の感想

私は1歳の子供を持つ母親です。

3月の震災直後の原発事故はテレビで見えていましたが、静岡がこれほど影響を受けるとはその時は感じていませんでした。そのため少し葉野菜を避けるぐらいで子供と散歩もしていました。

ところがインターネットで情報をみていると、実は大変なことが起こっていて、静岡は危険なのでは？と気づき始めました。

その後、政府による3月のセシウム汚染状況などが後になってから発表があったりと、この国の私達が選んできたはずの代表は信頼できないのではと思い、信頼できる情報を求め調べているうちに、プラムフィールドに辿りつきました。

家では関心のあまりない楽観的な夫と喧嘩も増え、友人達にも「気にしたらキリがない」と言われ、不安を話せる人も見つからず孤独な日々でした。ですがお話し会を通じて知り合ったお母さん方と色々な情報交換をして心の支えとなっています。



馬場さんは「無駄に恐れず、科学的根拠をもとに対策しよう。」と話してくださいます。この言葉によって、いろいろな情報に振り回されている自分が冷静に戻ることができます。

また、気をつけなければならないのは放射能だけではないこと、チェルノブイリの事故によって苦しんでいる子供がまだいることを、恥ずかしながらこの事を機会に知ることができました。そして馬場さんのお話にあったように、肉や魚をメインとした食事のあり方を見直すきっかけとなりました。また測定室で測っていただいて不検出となった夫がつくる野菜も食べられて、感謝しています。

今は議員さんに給食の産地公開と給食食材の検査の導入をお願いしていたのですが、先日、サンプル調査が導入されると議会で決定したようで、一歩進んだように感じます。



私の子供は1歳なので給食は食べませんが、将来日本を支える子供達だけは、しっかり調査の行き届いた食品で成長して欲しいのです。

そのためには私達親が関心を持ち続けなければ、また同じ事故が起きると思っています。現在、事故の報道が少なくなり、関心が薄れる事に危機感もっています。私達の子ども、子孫が安心して生きていけるように、これからも知り合えた方々と一緒に頑張ろうと思います。チェルノブイリ事故後から活動を続けてくださったプラムフィールドの方たちに感謝いたします。

富士市 女性



私たちのおばあちゃん測定器

インタビュー しずおか

原発事故による放射能汚染どう向き合う

京大大学院教務職員 河野 益近さん(58)

できるだけ被曝避けて生活を

原発事故による放射能汚染にどう向き合うか。食品汚染の自主測定に取り組む静岡市の市民団体が8月末に開いた催しで、不安の声が相次いだ。その悩みに答えた京都大学大学院原子核工学専攻教務職員、河野益近さんに、県内の汚染状況や生活上の注意を聞いた。

——全国や県内で松葉の放射能汚染を調べて公表されましたね

政府の発表ではなく、自分で全国の大気の汚染状況を調べたかった。松葉は季節にかかわらず全国にあるので各地の汚染を同じ条件で比較できます。

松葉の放射能汚染調査 原発事故後、47都道府県の約100カ所、県内では25カ所で追加採取した松葉の放射性セシウムを測定。事故発生時点の汚染の最大値を推定して、地図にまとめた。文科省のデータなどと比較し、ブログ(<http://kohn.o.at.webry.info/>)で公表している。

——調査の結果は

福島第一原発を中心に東北、関東の汚染がひどく、福島県内では生の松葉1グラム当たり30万ベクレルを超えたと推定される地点がありました。九州などの1倍という地点に比べると30万倍以上です。静岡県では9月、事故発生時に生えていた松葉を調査し、伊東市で最高の419ベクレル、伊豆の国市や熱海市で200ベクレル超など県東部が高い傾向で、静岡市葵区は50ベクレル、浜松市北区三ヶ日町は44ベクレルでした。事故発生時はこの4倍程度だと推定されます。

——安全な範囲なのでしょうか

事故現場に近い東北や関東に比べると汚染は低いといえます。被曝線量の基準値は100マイクロシーベルトと

京都大学大学院原子核工学専攻教務職員。市民団体「プラムフィールド」の静岡放射能測定室アドバイザー。1999年のジェー・シー・オー東海事業所の臨界事故では直後の避難要請圏外で被曝があったとする論文をイギリスの科学雑誌「ネイチャー」に発表した。



市民団体による放射能汚染を考えると、子育て中の母親から不安を突きつけられた。「事故による汚染は涙が出そうになるくらい深刻です」

いわれ、これ以上だと発がん率の上昇など健康への悪影響が明確にわかっていまいす。では基準未満なら悪影響がないかという点、そうではなく、影響が明確にはわかっていないだけです。被曝線量にはこれ以下なら安全というレベルは存在せず、被曝線量が増えるほど健康への影響は増えると考

えるべきです。一人ひとりが可能な範囲で、できるだけ被曝しないよう気を付けて生活するしかありません。——静岡のお母さん方も不安を抱えていますか

外に洗濯物を干しても大丈夫かとか、汚染がより低い場所へ引っ越した方がいいのか、子どもを外で遊ば

せない方がいいのか、など様々な質問がありました。ただ「これさえすれば大丈夫」と言い切れるものはない状況で、仕事や金銭的な余裕などに照らして、個々が「安心」のために、どこまでやるかを選択せざるを得ない面があります。

——衣食住で気を付けられることはありますか

大人も子どもも帰宅時に手洗いを徹底することで外から自宅内に持ち込む放射性物質を減らせます。既に室内に持ち込まれた放射性物質はフィルター式の掃除機では除去しにくく布拭き掃除が効果的です。腐葉土は放射性物質を抱え込むので子どもを森で遊ばせることは、状況が分かるまで控えた方がいいと思います。

食の安全については、外国産を選ぶべきかという質問も受けますが、放射能汚染だけでなく、農薬汚染の問題や、産地偽装などの可能性もありますので、顔の見える信頼できる生産者から買うのがいいのではないのでしょうか。

(上沢博之)

■ 測定室からこんにちは！

馬場利子

こんなタイトルで、静岡県掛川市の当室会員（彼女は環境劇団 ECO'S で一緒に活動している仲間でもあります）が放射能について伝える場を作って下さったので、お話に行かせてもらいました。そこでも、小さなお子さんを連れてたくさんのお母さんたちが参加して下さいました。今、全国各地で学校給食の測定を要望する活動が広がっていますが、この街でも、給食に関する活動を始めた人々に出会うことが出来ました。皆さんが様に、まっすぐ今の不安を口にし、行動をしている姿に、共感と感謝でいっぱいです。脱原発や子どもたちを放射能のリスクから守る活動と呼び掛けられることがありましたら、測定室にもご連絡ください。同じ思いの人が繋がる知恵を尽くしたいと思います。

もう1つ、夢は実現する・・・というお話を聞いて下さい。

この『測定室だより』に添えて、震災孤児たちの家“のいえプロジェクト”
<http://www.neue-project.com/>のチラシをお届けしました。これは私と私の心友である友人2人が5月初旬に呼びかけ人となって準備を進めてきた『震災孤児たちの自立を支える家（家庭）』の活動を紹介したものです。

3.11の惨状を目の当たりにした私の心友は、福島や宮城などに多くの孤児たちが居ることを知り、「あの子たちに悲しい思いをさせてはいけない。私たちの夢だった愛の学校（『若草物語』にあるプラムフィールド）をつくりましょう！」と想いを声にし始めました。すると、家を提供して下さいる人、建築家、福祉の専門家と次々に人が共鳴し、瞬く間に宮城県に第1軒目の『ムトーの家』が10月1日に開所しました。ただ住む家ではなく、私は環境に配慮した暮らしを提案し、友人たちは安全な食と子どもたちの人権を守り、教育を・・・と今まで各々が培った知恵で、子ども達が巣立つ年齢まで育てていきたいと思っています。私の幼い頃からの夢、孤児たちの家を作る事が、突然叶いました。

放射能を思うと辛くてなりません、社会が幸せに向かうよう、力を出し合って歩みたいと思います。皆さんとの共通の夢の実現・・・原発の無い暮らし・・・と一緒に叶えましょう。



■ 測定検体別必要量について

測定依頼の際、皆さんには「おおよそ容量として500mlの試料が必要です」とご案内してきましたが、測定を進める中で、種類別におおよその重量がわかってきましたので、お知らせいたします。

測定試料をお送りくださる時の参考にして下さい。

<補足>

① 葉物野菜などは測定予定日よりもあまり早くお送りいただきますと、乾燥により水分量が減り、容量に対して重量が減ることによって、測定限界値が上がってしまいますので、測定予定日を確認いただき、お送りくださるようお願いいたします。

② 母乳など、お送りいただく日の調整が難しい試料は受け取って冷凍保存いたしますので、測定期日直前でなくても構いません。

水（牛乳など液体試料）	じゃがいも	700 g
700 g（約 600ml）	サツマイモ	700 g
母乳 550 g（約 600ml）	米	650 g
卵（Lサイズ） 10個	小麦粉	450 g
果物 800 g	粉ミルク	400 g
玉ねぎ 700 g	茶葉	300 g

③ 測定申込書に試料の産地や製造年月日（収穫日）の記入がなく、こちらから問い合わせなくてはならない事はよくあります。

食べ物は生産地、収穫（製造）年月日により、同じ種類でも汚染状況は全く違いますので、申し込み書に固体情報の記載をよろしくお願ひします。

お知らせ

①静岡県内の松葉の測定結果が出ました。

地図作成協力 中小路太

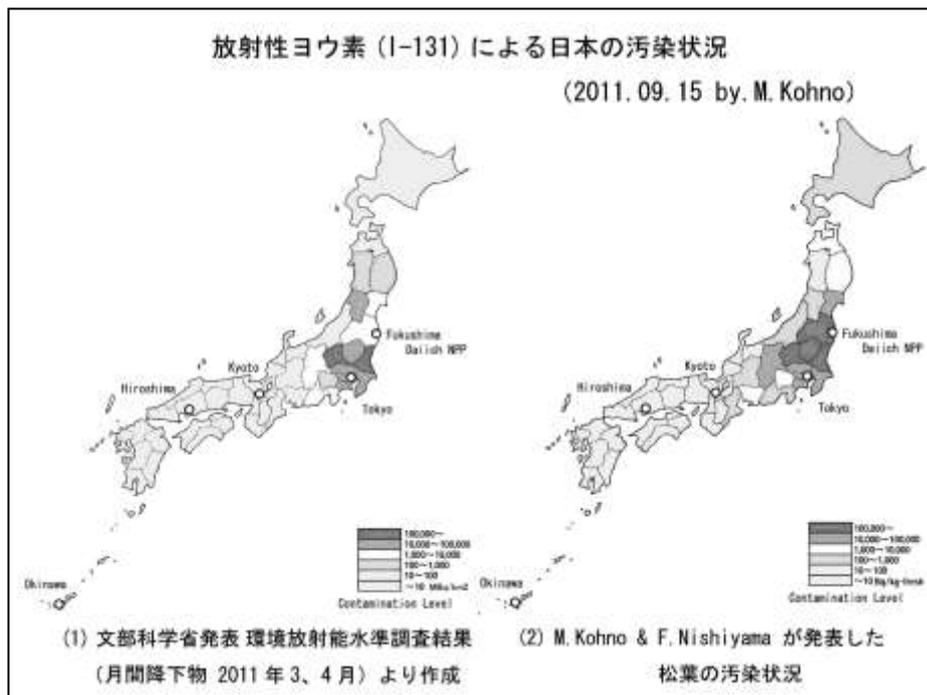
各測定箇所の測定データは、測定室 HP (<http://www.geocities.jp/plumfield995/>) または、河野さんのブログ (<http://kohno.at.webry.info/>) をご覧ください。

測定場所、測定結果を一覧表示にした地図は、10月末に完成予定です。

11月6日(日)の『チェルノブイリハート』の上映会で実費販売をする予定にしていますので、HPがご覧になれない方は、11月に入りましたら、お尋ね下さい。



『河野さんの松葉の全国測定結果地図と文部科学省の汚染データ地図』 地図、河野ブログより引用



お知らせ

②主催します！ 河野さんのトークも一緒にお聞きしましょう！

ドキュメンタリー映画

チェルノブイリ・ハート

上映会 & アフタートーク

1986年4月26日
チェルノブイリ原発事故発生。
それは当時生まれた子供たちにたくさんの災いを及ぼした
放射線の影響で心臓に重度の障害をもった子供たち、
それを「チェルノブイリ・ハート」と呼ぶ。
ベラルーシでは現在も、新生児の85%が何らかの障害を持っている。
25年前に起こった原発事故はまだ終わっていません。
そして、福島。いま、日本で、何が出来るのか？

事故から25年...
まだ終わっていない



2011年11月6日(日) サールナートホール 1F ホール

映画上映会 (61分)	アフタートーク (60分)
午前の部 10:30 ~ 11:35	『いま、私たちにできる事』 11:45 ~ 12:45
午後の部 14:00 ~ 15:05 * 各回30分前開場 全席自由	15:15 ~ 16:15

特別鑑賞券 1000円
この券は共催団体各所で販売。
シネ・ギャラリーで上映される。
『あしたが消える』 10/29(土)-11/11(金)
『チェルノブイリ・ハート』 11/12(土)-11/25(金)
でも使用できる共通券となっています。

講師 河野 益近氏
静岡放射能汚染測定室アドバイザー
京都大学大学院工学研究科原子核工学
チェルノブイリの現地調査も行い、被害状況にも詳しい
河野益近さんに、『いま、私たちにできる事』と題して、
午前と午後の2回、お話しいただきます。

【主催】お問い合わせ プラムフィールド・静岡放射能汚染測定室 TEL・FAX 054-209-2021

【共催】会場 サールナートホール・シネギャラリー TEL 054-250-0283



③第5回 “放射能を話そう♪”

日時：11月24日(木)
13:30~15:00

場所：プラムフィールド
(静岡放射能汚染測定室)

参加費：会員 300円 一般 500円
(『測定室だより』1部(500円)とお茶付)

心を通わせる会話から知恵が湧いてきますように・・・

④静岡で行われる映画祭 『平和記念 ドキュメンタリー特集 2011』

プラムフィールド&測定室が
上映協力をします。(映画の詳細は
織り込みチラシをご覧ください)
絶対のお勧めは、

『幸せの経済学』

<http://www.shiawaseno.net/>

と



『未来の食卓』の第2弾である
『セヴァンの地球のなおし方』
<http://www.uplink.co.jp/severn/>
です。



プラムフィールドでは、7本の映画のどれにでも入場できる団体鑑賞券を1000円で販売をします。
団体鑑賞券の郵送購入をご希望の方は、プラムフィールドまでご連絡ください。お送りします。その際、送料80円をご負担いただきます。

大震災で亡くなられた方、被災地に暮らす方々、そして、すべての人が平安でありますように・・・

★当測定室アドバイザー 河野益近さんから、皆さんへのお願い

私の狭い世間の中で、福島原発事故後に子どもが鼻血を出したという話を二人の方から聞きました。やはり、何かあるのだと感じました。私は医学を専攻した人間ではありませんが、このような個人レベルの話は、時と共に消えていく・・・、でもそれを経験したお母さんたちにとっては、忘れることのできない現実として残るものだと思います。

私は、科学というものは、わからないところを今ある知識と経験に基づいて推論するものだと思っています。

でも「日本の科学」は、わからないもの（こと）はないもの、調べていないことはないもの（こと）とする風潮が強すぎるように思います。とても悲しいことです。

私はある本を読んで、「気付いた人がやらなくっちゃネ」と言う言葉に衝撃を受けました。

私は子どもの鼻血が気になって仕方がないのです。誰かがやってくれるとありがたいのですが、そのような人が現れるまで、これらの情報を集めようと思っています。私は京都大学大学院工学研究科に席を置いています。

もし協力（情報提供）してくださる人がいれば、私宛にメールをいただければと思います。

メールは kohno@nucleng.kyoto-u.ac.jp です。

あるいは、私のブログ

http://kohno.at.webry.info/201110/article_1.html のコメント欄に書き込んでいただければと思います。

お送りいただいた情報は私のブログに掲載させていただきますが、個人が特定できるような情報は掲載しません。

必要な情報は以下のとおりですが、これは私の希望であって、絶対条件ではありません。

- ① 情報提供者と鼻血をだした子どもとの関係
(本人・親・親との知人・・・など)
- ② 原発事故当時の所在地(都道府県)
- ③ 鼻血を出した子どもの年齢(生年月日)
- ④ 鼻血を出した子どもの性別(男・女)
- ⑤ 鼻血のでた時期(何年何月頃)
- ⑥ 鼻血の量(少ない・多いなど、投稿者の感じで)
- ⑦ これまで鼻血を出したことがあるかどうか。
- ⑧ その他(情報を提供してくださる方が思っておられることなど、なんでも)

★測定室事務局より・・・測定希望の食品名を教えてください。

測定依頼は途切れることなく、申し込みがあり、すでに12月まで予約が入っています。

測定予定食品については、月一回程度、HPに掲載し、参考にさせていただいていますが、会員の皆さんの測定データが欲しい食べ物は、どんなものでしょうか？

11月15日までに、測定して欲しい食品名(一般名)をお寄せください。お寄せいただいた食品名を集計して、ご希望の一番多かった食品を測定室で試売し、測定をしたいと思っています。

ただし、『〇〇市の鮎』というような限定の希望はお受けできません。皆さんが、どんな食べ物について、知りたいと思われているのか、共有をしていきたいと思っています。

・・・皆さんのご意見、ご要望をお寄せください。

次号より「会員交流室」でご紹介します。

投稿は 200文字まで。匿名でも構いませんがお住まいの区市まで明記して、FAX またはメールでお送りください。電話での投稿はお受けできません。

掲載させていただいた方には、小さなプレゼント(お礼)をお送りいたします。

■ 測定室活動日誌

- 9月17日(土) 第28回 日本医学会総会(東京)馬場、
シンポジウム『放射線被ばく医療』に参加。
- 9月26日(月) 世界おかあちゃん同盟主催(岐阜市)講演会
馬場講師として参加
- 9月28日(火) 第3回“放射能を話そう♪”
- 10月1日(土) 市民測定室交流会(東京)渡辺参加。報告あり。
- 10月15日(土) 測定室会員主催(掛川)講演会。
『測定室からこんにちは!』に講師として馬場参加。
- 10月16日～ 『測定室だより』第4号、編集
- 10月20日(木) 測定室スタッフ会議
- 10月23日(日) 『測定室だより』第4号印刷・製本作業
- 10月24日(月) 13:30～ 第4回“放射能を話そう♪”



■ 『10月1日(土) 市民による放射能汚染測定活動交流会』報告

測定室顧問 渡辺春夫

2011/10/01 13:30-16:00

開催場所: 東京都江東区

出席人数: 約30人

東京を中心に、クラブ生協、化学物質、大地の会、たんぼぼ舎(測定室)、有機農業、静岡放射能汚染測定室、福岡から複数参加。特に放射線の専門家(学者)はいなかったようだ。

<主催者側から>

長期的分析のために標準物質が必要。汚染お茶を数キロ確保してある。ゲルマニウム検出器で測定してもらい、各地の測定室に標準試料として配布していきたい。

信頼性のあるデータを出す必要がある。

データは国民に原則公表する。

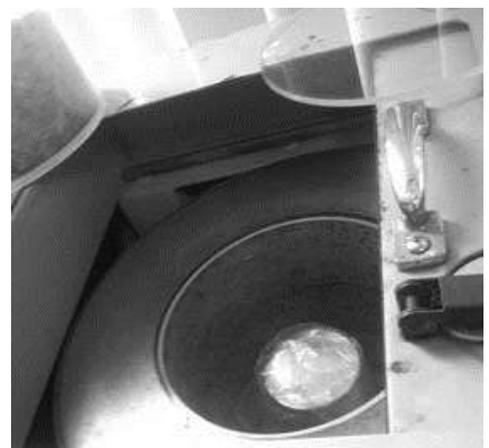
1サンプルに時間を掛けて微量まで測れる一方、待ちのため計れない大勢の人がいる。検出限界を下げても数をこなすか?各地から同じものを別々に計っていることもある。

今後も交流会を持ちたい。

出席者で測定しているのは、主催者であるT-ウォッチ(タバハカ=旧環境監視研究所の移設測定器、静岡同様事故後直ぐには故障のため立ち上げられなかった)と、たんぼぼ舎、と静岡、大地の会だけのよう。福島には真宗大谷派によりゲルマニウム検出器が提供される予定のよう。



T-ウォッチの測定器。
FAXの向こうのボックスが検出器。
箱内は鉛遮蔽。上は重量秤



サンプルを取り出した検出器周辺

何でも質問箱

★会員さんからこんな質問が来ています。どなたか情報をお持ちの方、測定室までお知らせください★

《質問》

今年は各地で桜が咲いたり、異常気象が続いているようです。スギ花粉の飛散も、11月から見られるのではないかとニュースで言っていました。

杉にはセシウムが吸着していると聞きますが、花粉にセシウムは移行するのでしょうか。

福島の親御さんたちも、みなさん、同じ心配をされています。何かご存知でしたら教えてください、よろしくお願いします。

長野県 Y・K

★頂いたお答えは、質問と共に HP に掲載するとともに、ご本人にお返事をさせていただきます。

現在の会員数

10月18日現在の会員数

特別会員	2人
団体会員	9人
会 員	99人
情報会員	74人
旧 会員	15人
合計	199人



編集・発行 : 静岡放射能汚染測定室 事務局

〒420-0882 静岡市葵区安東 1-2-3 プラムフィールド内

TEL/FAX 054-209-2021 (月~金 10:00~16:00)

測定室 Ph 070-5034-0920 (月~金 9:00~17:00)

e-Mail ssokuteisitu@yahoo.co.jp

URL <http://sokuteisitu.plumfield9905.jp>

プラムフィールドの窓・
測定室の風

『スタッフのつづぎ』

今回はスタッフ紹介は、加藤さんが竹内さんを紹介します

いつも穏やかな笑顔でみんなを迎えてくれる竹内さんは理想の「お母さん」。愛犬りょうま君にもお孫さんに接するように愛情いっぱい！プラムフィールドを柔らかな空気で包んでくれます。(加藤光代)

測定室だよりも、もう4号です。時の経つのが速いこと。そんな中、測定室は大事なことをきちんと記憶していつてくれる存在なのだ、改めて感じています。これまでお茶の葉以外は、だいたい放射能は不検出でした。お茶好きのわが家では茶葉からの検出はともにも残念ですが、このまま不検出が続いてくれるといいな。

(竹内せつ子)